

(社員・家族→安否確認手段の周知)

災害用伝言サービス

～災害時の安否確認方法を確認しよう～

災害発生時には災害用伝言サービスの活用を

平成23年3月に発生した東日本大震災では、家族などとの安否確認の電話が殺到し、県内でも電話がつながりにくくなりました。

こうした災害の発生時でも家族や知人との安否確認や避難先の連絡等を行うことができるのが災害用伝言サービスです。

災害用伝言サービスは、毎月1日と15日などに体験利用ができますので、この機会に家族や知人との安否確認方法を確認しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル（171）

震度6弱以上の地震などの大きな災害が発生したときに、被災地の方が「171」の番号をダイヤルすると、自宅の電話番号あてに音声による安否情報を録音することができ、電話番号を知っている方であれば、全国から再生ができます。

一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS、スマートフォンから利用ができます。

伝言の登録方法

- ① 「171」にダイヤルします（ガイダンス（案内）が流れます）。
- ② 録音するには「1」をダイヤル。
- ③ 自宅の市外局番からの電話番号をダイヤルし、ガイダンスに従ってメッセージを録音します。

伝言の再生方法

- ① 「171」にダイヤルします（ガイダンス（案内）が流れます）。
- ② 再生するには「2」をダイヤル。
- ③ 安否を確認したい相手の市外局番からの電話番号をダイヤルし、ガイダンスに従って再生します。

スマホのアドレス帳にのみ相手の安否確認したい相手の電話番号を記録していると、災害時、スマホが手元がない場合、使えない場合に、相手の連絡先がわからない可能性があります。その対策も必要です。

災害用伝言板

震度6弱以上の地震などの大きな災害が発生したときに、携帯電話・PHSのインターネット接続機能を使い、自身の安否情報を文字で登録することができ、電話番号をもとに全国の携帯電話・PHSから登録された安否情報を確認することができます。

携帯電話、PHS、スマートフォンから利用ができます。

伝言の登録方法

- ① メニューのトップページ又は各携帯電話会社が提供している専用アプリケーションから「災害用伝言板」を選択。
- ② 「災害用伝言板」の中の「登録」を選択。
- ③ 次の4つの選択肢のうち該当するものを選択。
無事です。 被害があります。 自宅にいます。 避難所にいます。
- ④ 任意のコメントを入力（100文字以内）し「登録」を押す。
（コメントの例）：今、家族全員で〇〇小学校にいます。

伝言の再生方法

- ① メニューのトップページ又は各携帯電話会社が提供している専用アプリケーションから「災害用伝言板」を選択。
- ② 「災害用伝言板」の中の「確認」を選択。
- ③ 安否情報を確認したい人の携帯電話・PHSの番号を入れ、「検索」を押す。
- ④ 伝言が登録されていると、一覧が表示されるので、確認したい安否情報を選択。

※携帯電話会社によって表示内容が異なる場合があります。

詳細は各携帯電話会社の案内を御確認ください。



社内の避難訓練以外に
社員が在宅・休暇中の
安否確認の訓練をお願いします。

(社員・家族→安否確認手段の周知)

安否情報まとめて検索「J-anpi」

「電話番号」または「氏名」を入力することで、各通信会社が提供する災害用伝言版、各企業・団体が提供する安否情報（テキスト情報）を一括で検索し、結果をまとめて確認することができます。なお、安否情報の検索は、パソコン、インターネット接続に対応した携帯電話、スマートフォンで可能です。

[J-anpiの検索ページ]

<http://anpi.jp/>



<参考メモ>

○災害用伝言サービスの体験日について

災害用伝言サービスの体験日は通常、毎月1日や15日などに体験日を設けています。

○安否情報まとめて検索について

NTTとNHKが中心となって始まったサービスです。安否情報の登録はできず、検索のみのサービスですが、各社の情報を一括で検索できるメリットがあります。